

生物基礎	<p>今回は、試験範囲が広く、内容も盛りだくさんでしたので、テスト対策も大変だったのではないのでしょうか。</p> <p>模試は、これまでの学習内容がすべて範囲となりますので、今回の範囲だけでなく、以前の範囲も冬休みに振り返って模試に備えてください。</p> <p>特に、酸素解離曲線や、濃縮率などのグラフや計算問題なども、あきらめず、もう一度取り組んでみてください。</p>
地学基礎	<p>用語をただ単に覚えるだけでなく、用語の意味をしっかりと理解しましょう。共通テストでも、正誤を問う問題が多く出題されますので、用語をしっかりと理解し、正しく判断できる能力を身につけて下さい。</p> <p>なお、次回の考査の範囲は「惑星の誕生と地球の誕生」からとなります。太陽系の惑星の特徴を、「ビジュアルプラス地学基礎ノート」で扱われている問題に取り組んで押さえてください。</p>
物理基礎	<p>今回は、『力学的エネルギー』と『仕事』がメインでした。みなさんにはこの範囲の中で、物理で大切な『エネルギー』という感覚（知識ではなく）を身に付けてほしいと考えています。現在学習している『熱』も『エネルギー』ですので、單元ごとにぶつ切りになるような勉強方法ではなく、『物理基礎』、『物理』全体を大きく見ることができる「眼」を養ってほしいなあと思います。</p>
化学	<p>ずっと前から予告していた通り、今回の範囲はこれまでで最も広く、重く、大変な分野でした。その分早く授業中に範囲の説明を終え、演習時間をとったつもりでしたが、なかなか点数は伸びなかったようです。落ち着いて解くと解ける問題も、時間の制限がある本番ではなかなか取れなかったりします。早く、正確に、落ち着いて問題をこなすにはたくさんの練習が必要です。あきらめずに、問題演習を重ねてください！！</p>
公共	<p>今回の「公共」は、「知識・技能」の観点で70点、授業で取り組んだ重要事項を確認する「学習プリント」3枚からの出題となり、資料や設問文等の読み取りの技能も求めています。「思考・判断・表現」の観点は30点で、課題探究学習として取り組んだ「どうする日本経済!？」に関連する問題と、今年6月に公開された共通テスト「試作問題」からの出題となっています。平均点も60点台後半で、結果としては「おおむね満足」といったところです。次回も、皆さんの頑張り期待しています。</p>

日本史探究	<p>今回の後期中間テストは、日本史研究ノート（問題集）からの出題をいつもより多めにし、平均点を高めに設定をしたのですが、残念ながら平均点58点くらいで、前回のテストとあまり変わらず残念な結果となりました。次回の実力テスト（冬休み明け）の問題は、100点すべて日本史研究ノート（最初からp45 南北朝の動乱まで）から抜粋してテストを作ります。必ず良い点数を取ってください。また、1月の進研模試対策にもなります。頑張りましょう。</p>
地理探究	<p>今回、特に頑張りが見られたのは、大問3の思考・判断・表現で、平均10、7点と3回目にして初めて半分を超えることができました。つねに「なぜ？」と考えることができ、それを言語化することはこれからの授業・考査でも大切になってきます。また、大問1の主体的に学習に取り組む態度についても、私たちの周りで起きている事柄に対して関心をもつことができ、点数も半分をこえることができました。日頃の授業での取り組みが少しずつ成果となって表れてきました。◎</p>
保健	<p>1・2年を通じ保健のテストは今回が最終回の4回目でした。いつも70点台以上の平均点となり、新川高校の生徒にとっては易しい問題となっていたので、今回は平均点が60点台になるように出題しました。かなり難しい設問もありましたが、平均点62.6点、最高点95点、最低点32点という結果でした。理解力に優れている生徒が多いと感じています。この知識を今後の健康的な生活に役立ててほしいと願っています。</p>

あと二週間ほどで冬季休業を迎えます。街中では、冬を彩るイルミネーションやクリスマスに向けた装飾が目立つようになりました。冬の楽しいイベントを前に気持ちがそわそわしている人も多いのかもしれませんが。

さて、先日とある本で「受験に向けて、高2の冬に4～5時間は学習を…」という言葉を見かけました。一年後にはみなさんが力を発揮できる態勢（土台作りの段階から力試しの段階に移っている。）でなければいけません。試験を受けて満足せず、自分の力を伸ばしていきましょう。

